

社会を知るためのワカモノ×NPO
インターンシッププログラム 2019
活動報告書

人との繋がりを感じて、前に進んでいくよ

一度も歩いたことのない道を
勇気を出して足を踏み出したときに見える
今まではあまり見えてこなかった、地域との繋がり

一歩踏み出した先に待っている
ワカモノという仲間と一緒に
地域と繋がっていく楽しさ

一歩踏み出したおかげで得た
人との繋がりを大事にして
自分の未来を進んでいく

人との繋がりを感じて、前に進んでいく

My future, My legacy
それが私の、インターンシップ

次のページからは私たち
“ワカモノ”の紹介が始まるよ！



目次

ワカモノ紹介	1-8
1年の流れ	9
団体紹介	10-11
受け入れから見たもの	12-13
アンケート結果	14-15
成果発表会	16-17
プログラム趣旨	18
おわりに	19



地域と関わることの 大切さを実感



神藤 夏美 Natsumi Jindo

NPO 法人 アズヴェール藤沢スポーツクラブ

私立高校 2年生

主な活動内容：イベント運営、クラウドファンディングの進行

将来の夢：地域に関われる仕事

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

毎回初めての場所で初めての人と会うことで順応力がつきました。新しい環境でも積極的に関わりを持つよう心がけていきたいです。また、NPOとして運営していくことの難しさや現状の課題、地域と関わることの大切さを実感できたため、自分がどのような視点からこれらのことにアプローチ出来るかを考え、大学で勉強していきたいと思っています。



今だから言える！インターン中のエピソード

最初はマネージャーか選手として活動するのではないかと内心不安でした。実際はそんなことはなく、団体でお世話になった方のお子さんがとても可愛くて癒されたことが印象に残っています。また、最初は名字だったのがだんだんとあだ名(なっちゃん)が浸透して団体の全員があだ名で呼んでくれるようになりました。PCが全く使えず、作業にとてつもなく時間がかかったため、今後のためにも練習しようと思ったことも今となっては良い機会だったなと感じています。



受入団体の「ここが面白い！」

地域で行われるたくさんの行事に参加できるので、普段関わることのない様々な人と関わってみたい人におすすめ。また、フットサルの試合観戦に行くこともあるので、スポーツをする、観戦するのが好きな人も楽しいのでは。子供たちと関わる活動も多く、たくさんの笑顔を見ることもできます。色々な活動ができる団体なので、毎回違った発見や学びがあります。何より、団体の方々も親切な人が多く、アットホームな雰囲気なため、楽しく充実した活動ができると思います。





いつでも帰ってこられる 居場所を得られた

大井 麻奈美 Manami Oi

NPO 法人 横須賀創造空間
 明治大学 農学部 食料環境政策学科 4 年生
 主な活動内容：イベント運営補助、イベント体験の記事作成
 将来の夢：近所のいいおばさん

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

やっぱり横須賀、特に汐入は私の地元でありここに最後は帰ってくるのだと思う。ひとしきり外でやりたいことをやり切って、地元に戻った時、ヨコスカテラスに来ていた大人のようになっていたい。ここでの繋がりが自分の中でちゃんとできたからこそ、居場所としていつでも帰ってこられる。このインターンで得られた大きいものだと思います。



今だから言える！インターン中のエピソード

最初の大きな行事がワンピースコラボの取材。朝早くに桟橋集合で、眠さと緊張を抱えながら報道陣が集まる場所に行きました。以前お世話になった方の顔もあり、最近横須賀のイベントに協力出来ていないことが申し訳なく、苦笑いしていたところ、亀崎さんから「これからテラスのインターンで来るのでよろしくお願いしますね。」と紹介され、そこで本当に始まるのだな！という気持ちと、横須賀の大人たちはいつでも待っていてくれることを感じ、印象に残っています。



受入団体の「ここが面白い！」

できれば横須賀出身の若者にぜひ来てほしいと思う。ふらっといつでも寄れて、好きな時に活動できるのがこの団体の良さだと思う。また、ヨコスカテラスに来る大人たちから話されるジモトークは本当にコアなものが多く、ここをめぐって楽しむためにもぜひ横須賀の若者に来て欲しい。次にこのインターンをオススメしたい人は、飲み屋が好きな人（自分が飲めればなおし）、イベントや祭りごとが好きな人、大人と話すのが好きな人です！



将来の親としての 理想像を確立

鹿又 加寿起 Kazuki Kanomata

NPO 法人 Nico's Company
 神奈川大学 経営学部 国際経営学科 1 年生
 主な活動内容：キッチンスタッフ&障がい者の補助、HP 作成
 将来の夢：経営コンサルタント・ディズニーのキャスト

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

情報化社会のなかでも、地域の人々との関係やコミュニケーション力がいかに重要であるかがわかりました。インターン先では障がいのある子供さんに対する親としての愛を感じることができ、将来、家庭を築き子供を授かったとしたら、どんな子供であっても精誠尽くせる親になりたい。そんな将来の親としての理想像を確立できました。



今だから言える！インターン中のエピソード

とても印象的だったのは障がいのあるスタッフさんが必死に一步一步歩いて活動していたことです。足を上手く動かせないというにもかかわらず、積極的に活動している様子を見て、自分の人生を考えさせられるきっかけに。彼のように前向きな姿勢で物事に取り組んでいるのだろうか？と。また、そのスタッフさんが時々言う、おやじギャグが面白く、それを冷静に突っ込むスタッフさんとの会話も温かいものでした。まさに家族のような関係だなと感じました。



受入団体の「ここが面白い！」

短期的な活動（アルバイト）よりかは、こういった長い活動が充実するのでは。活動を通して人間的な葛藤や自分の限界に直面し、それをいかに乗り越えていけるかが体験できる期間になるはず。現在の環境に満足せずに、新しい環境にも順応し、自分の糧にしていきたいと思える人には最適です。気持ちが下向きになりがちの人や、やる気がなかなかでない人にも、地域の人たちの温かさや、家族文化を感じてほしいです。社会に通ずるルール等も学べるチャンスかも。





同年代や年上の人達と 関わるのが刺激に

田邊 真弓 Mayumi Tanabe

藤沢市民まつり実行委員会
湘南学園高等学校 2年生
主な活動内容：藤沢市民まつりに向けた準備、企画運営
将来の夢：人の記憶に残ることをしたい

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

私はこの経験を進路選択、就職に活かしたいです。私はこの夏に他の機関でもインターンをしていました。しかしこのインターンのように長い期間のものではありませんでした。まだ、色々迷っていることが多いのですが、半年ということでひとつの企画に長く関わることもでき、実際の仕事をより知ることが出来たと思います。



今だから言える！インターン中のエピソード

苦労したことは自分の活動を文章にしたり、発表することです。実は今この文章も何を書いたらいいのかわからなかったです。このインターンではそういった自分のことを話す機会が多かったので、自分の課題に気がつくことが出来ました。また、インターンの初めの方にした Excel や Google フォームを使った作業がなぜか印象に残っています。



受入団体の「ここが面白い！」

藤沢市民まつりでは自分と同年代や少し年上の大学生の人達と関わりことができるとも面白く、また刺激になりました。そのことから自分の視野を広げられたと思います。

企画や運営、地域の人に関わりたい人にオススメです！



様々な価値観に触れたり、 海外の文化を学ぶ

酒井 彩良 Sara Sakai

NPO 法人 ハーモニーインターナショナル
神奈川大学 経営学部 国際経営学科 1年生
主な活動内容：子どもとの交流、クラスやイベントサポート
将来の夢：日本語教師になって海外で働くこと

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

普段から英語で活動をしてきたため、リスニングとスピーキングの練習がたくさんできました。今後も英語で活動する機会を持ち続けたいと思っています。また、活動中は様々な価値観に触れたり、海外の文化を学ぶことが多くありました。これらをただの知識としてではなく、自分の中で上手く消化し新しい自分のスタイルを作っていけたらと思います。



今だから言える！インターン中のエピソード

一番印象的だったのはやはりイベントにスタッフとして参加したことです。クラスで子どもたちと一緒にダンスや歌の練習をしていたので、当日も一緒にやる気でしたが流石に私の出る幕はありませんでした笑。当日はゲームコーナーの運営を手伝ったり、発表のサポートやピッチャータを支える係をしたりと忙しいながらもとても楽しめました。



受入団体の「ここが面白い！」

教育、子育て支援に興味がある方には特におすすめします。ハーモニーインターナショナル独自の教育方針や教育に対する様々な価値観に触れることができると思います。常に向上心を持って仕事ができる現場です。日常生活で英語を使う機会が欲しい方、英語が好きな方にもおすすめです。私は活動を通して英語力や積極性が以前よりも身に付き、楽しみながら成長できたと感じています。





古都鎌倉の地で、 新しいまなびの形を

小林 大真 Oma Kobayashi

NPO 法人 鎌倉あそび基地

N 高等学校 2 年生

主な活動内容：フリースクールのスタッフ、PC 関連の手伝い

将来の夢：生き延びること

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

鎌倉あそび基地は本当にたくさんの方が関わってまして、ぼく自身もいろんな人と接するチカラを身につけることが出来ました。これからも自分自身を研鑽し続け、生き延びつつ、いろんな人と接し、幸せを増やしてゆければいいなと思っています。子どもたちにまなびを提供出来るような人間になれば、嬉しいです。



今だから言える！インターン中のエピソード

フリースクールラルゴでは日々の活動で、子どもたち各々が様々な『好き』を追求できます。僕個人は、好きなものの一つに『レトロゲーム』があって、集めています。それをふかふかに持ち込みスクリーンに出し、しばしば子どもたちと遊ぶということをしていました。しかし、自分が興味を持って集めたゲームなので…。自分ばかりが遊びすぎてしまう…なんてこともしばしばで、我慢に苦心していました！



受入団体の「ここが面白い！」

鎌倉あそび基地では、子どもたちに学校の外でのまなびをたくさん提供しています。貪欲に色々なまなびの提供に取り組んでいますし、企画の持ち込みも歓迎されます！色々なプロフェッショナルの方を講師に呼んだり、子どもたちと一緒にまなびを得て成長できるとても良い場所です。



古都鎌倉の地で、新しいまなびの形を探ってみませんか！



自分の核となる価値観を 考えるきっかけに

小島 奈々 Nana Ojima

認定 NPO 法人 藤沢市民活動推進機構

神奈川大学 経営学部 国際経営学科 3 年生

主な活動内容：イベント「えほんの POP」企画・冊子制作

将来の夢：社会に必要とされる人になる

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

様々なフィールドで活躍する NPO の人達とお話することで多様な価値観に出会い、自分の核となる価値観とは何だろうか、と考える良いきっかけとなり、私に足りないモノや身につけたいと思うスキルが自分の中で生まれました。また、気になった情報は web や本だけでなく、NPO にインタビューをしてみることを取り入れていきたいです。



今だから言える！インターン中のエピソード

VOLUNTEERS 作成の時に「自分を描いて、登場させてみようよ」と言われ、自画像を描くのは苦手だったのでうまくいか不安だったのですが、高評価をいただけて嬉しかったです。また、絵本の POP 企画の際、学校の行事でバタバタして、広報期間が1週間だけになってしまいました。人が本当に集まるのか（なんと担当の西尾さんの夢にまで出てしまうくらい）不安でした。結果、予想以上にお客さんが集まり、賑やかなワークショップとなり、頑張りが報われました。



受入団体の「ここが面白い！」

やりたいことをとことんできる限りやらせてくれる団体です。推進機構は中間支援組織なので、気になる分野の団体さんとつながることができるのは最大の魅力だと思います。やりたいことがまだ決まらない、NPO とはそもそも何だろう？と模索している人にこそおすすめの団体です。





保育士という仕事への 理解を深められた

植田 紗佳 Sayaka Ueda

NPO 法人 幼児武道教育振興会
鎌倉女子大学大学 短期大学部 初等教育学科 1年生
主な活動内容：保育
将来の夢：保育士（今のところ）

インターンの経験を、将来にどう活かしたい？

保育士になるための勉強として保育実習に今回のこのインターンはとても生かされると思います。読み聞かせやオムツ替えなどを経験させていただき保育士としての力を身につけることができました。実際に子どもと関わる中で、年齢に合った発達過程がある事への理解が深まりました。保育園で見て学んだことを今後の実習等に取り入れていきたいです。



今だから言える！インターン中のエピソード

勉強との両立や大学に近いという理由で選んでみたものの、学校帰りに活動を行う事はなく家から通うことが大変だったと感じています。保育園の子ども達はみんな可愛く、関わっていくうちに関係が深まっていくことを実感でき嬉しかったです。興味があってこちらをみていたり、何度も話しかけてきたりするところが愛おしく、子どものそばで成長を見守ることができる保育士という仕事への理解を深めることができました。



受入団体の「ここが面白い！」

将来、保育士になりたい人向けであると思います。子どもが好きだけでは務まらないような仕事ではありますが、全力で子どもと遊ぶことができる人、コミュニケーション能力があり人と関わる事が好きな人なら、このインターンはとてもお勧めできます。



インターン期間中（7月1日（月）～翌年2月8日（土））には、ワカモノ同士の横のつながりづくりと、インターン活動に役立つ知識や体験を積むことを目的として、月1回程度の定例会と中間発表会、成果発表会を開催しました。

本ページでは、本プログラムの1年の流れを紹介しています。



オリエンテーション
インターンへの心構えと顔合わせをテーマに行いました。

- 4月 ● 団体への広報
- 5月 ● ワカモノへの広報
学校での説明会
- 6月 ● ワカモノとの面談
マッチング
オリエンテーション
- 7月 ● インターン期間開始
- 8月 ● 第1回ワカモノ定例会 & 研修会
第2回ワカモノ定例会 & 研修会
- 9月 ● 受入担当者座談会
- 10月 ● 中間発表会
- 11月 ● 第3回ワカモノ定例会
- 1月 ● 第4回ワカモノ定例会
成果発表会リハーサル
- 2月 ● 成果発表会
インターン期間終了



ワカモノ定例会 & 研修会その1
「NPOを知る、考える」講座やインターン活動の様子を共有しました。



ワカモノ定例会 & 研修会その2
イベントを見学したり、話し合いを重ね、成果発表会の企画をしました。



ワカモノ定例会 & 研修会その3
2020応援団藤沢ビッグウェーブ主催のセーリングW杯観覧ツアーに参加しました。



受入担当者座談会
担当者として心がけていることや、悩みなどを共有しました。



中間発表会
1人5分で印象に残ったことや成長を感じたことを発表しました。



成果発表会
インターンの集大成として、どんな半年間を過ごしたのか、その成果を発表しました。

2019年度は8つのNPO・市民活動団体にワカモノを受け入れていただきました。
ここでは、ワカモノを受け入れてくださった受入担当者のお写真と、団体の活動を紹介しています。※掲載している団体情報は2019年度エントリー時の情報です。

 **まちづくり**：まちの清掃活動、地域活性イベントなど

 **福祉**：高齢者・障がい者への健康や自立のサポートなど

 **文化**：地域文化の保全、芸術やスポーツイベントの運営など

 **国際**：国際協力、留学生・外国籍の方への支援など

 **子ども**：レクリエーション、保育、学習サポートなど



担当者：大澤 英昭さん



NPO 法人
アズヴェール藤沢スポーツクラブ

フットサルを中心とした地域密着型スポーツクラブ

藤沢市を拠点に、「フットサル」を中心とした地域密着型スポーツクラブとして、青少年の健全育成、地域の方の健康増進、生涯スポーツの普及を目的とした活動を行っています。



担当者：戸叶 裕美さん



NPO 法人
ハーモニーインターナショナル

自分を尊重できる国際人を育てます！

多文化意識・英語・リビングバリュー（ユネスコ推薦道徳教育）を3本柱とし、様々なプログラムやイベントを通し提供しています。0歳から大人までが参加し、当会ならではの、体験できるスクールも開催しています。



担当者：亀崎 昌義さん



NPO 法人
横須賀創造空間

横須賀・三浦半島に人を呼ぶ、魅力を発信する、人々の交流を促す

NPO 横須賀創造空間（2014年設立）は、横須賀＆三浦半島の魅力を発信する事業を行い、市民協働や人材交流を促進。地域の発展に寄与することを目的にしています。京急汐入駅近くで、コワーキングスペース「ヨコスカタラス」を運営しています。



担当者：田村 伸子さん



NPO 法人
鎌倉あそび基地

地域ぐるみの子育て環境づくりに取り組む

木のぬくもりあふれる施設で、フリースクールラルゴと学童保育ふかふかを運営しています。幅広い年齢層のスタッフが、ご家族と一緒に子どもたち一人ひとりの育ちを応援し、地域に開かれた環境と、子どもたちの「好き」を極める学びの場の提供を目指しています。



担当者：小木曾 まこさん



NPO 法人
Nico's Company

障害のある方の自立や就労支援のカフェを運営

障害のある方が 自立や就労することを支援する施設です。カフェという場所での地域交流や出張カフェ、マルシェへの出店をしています。また18歳以上の障がい者の夕方支援をおこない 障がい者の交流の場を作ると同時に介護されている親御さんへの支援も行っています。



担当者：細矢 岳彦さん



認定 NPO 法人
藤沢市民活動推進機構

「つなぐ・支える・うごく」 NPO を支援する NPO

私たちは「NPO（非営利組織）を支援するNPO」として、NPO活動を支援し、藤沢の市民活動を盛り上げるための活動をしています！また、まちづくりには、NPOだけでなく様々な組織が連携することが大事です。推進機構ではNPO・行政・企業・学校等との連携を進めるために、まちの活性化事業も行っています。



担当者：桜井 光さん



藤沢市民まつり実行委員会

地球と暮らす・私たちにできること

今年で46回目となる藤沢市で開催されている最も大きなイベント、「藤沢市民まつり」の企画・運営をする団体です。商工会議所、商店会連合会、藤沢市、NPO、市内4大学の学生と、様々なメンバーが主体となり活動をしています。



担当者：島田 幸子さん



NPO 法人
幼児武道教育振興会

親子のふれあいを大切に

保育園の運営を通じて、子どもたちの健全育成に貢献し、また、多様化する社会情勢において、子育てと仕事、家庭を両立することに困難や不安を抱えているママやパパを支援する為、セミナーや相談会、子ども食堂の運営等を行っています。

受入団体の方にとって、ワカモノを受け入れたことで、どのように団体内での変化が起き、また、受入担当者の方から見て、ワカモノはどのように映ったのでしょうか。こちらのページではワカモノを受け入れたからこそ見えた変化を紹介いたします。

受入を通じて、団体の組織内にどのような変化がありましたか？

団体のことを理解してもらいたい…と考えることで、自分たちのことを改めて客観的にみることができました。また、同じ（似ている）価値観の人間同士で日々活動をしているなか、少し違った角度での意見や疑問をもらえて、とても良い勉強になりました！

ワカモノが本プログラムで目指す目標達成・実現に向けて、どのようなサポートや助言をするべきか、等のボランティアマネジメントを考えるきっかけになった。

外部の意見が聞けた

ワカモノの子どもたちへの真摯な接し方に良い影響を受けた。また現代の子どもたちが接する最先端技術についてのアドバイスや協力も得て、団体としての次のステップに繋がった。

若い人を受け入れることで、活動内容の見直しができること。

初年度でしたので さほど変化を感じられませんでした。

通常は接点の少ない大学の様子を知ることができたり、スクールの活動内容についての意見や改善点なども聞くことができた。インターン生の目的に見合った、成長を促す活動を選ぶ意識が高まった。

ワカモノがはいつたことにより、メンバーのモチベーションが上がった。また若い人に地域の魅力について知ってもらいたいという気持ちが芽生えた。

活動を終えて、ワカモノにどのような変化がありましたか？

英語の聞き取りやスピーキングなどのコミュニケーションスキルが向上した。初めの段階から、与えられた仕事に対して真剣に、とても丁寧に取り組む姿勢が最後まで継続され、慣れてくると周りを見ながら自主的に動くことができるようになっていった。教師志望とのことなので、子どもとのかかわり方や、クラスの内容や進め方など、将来役立つ経験も得られたのではないかと思います。

情報発信する力（写真や文章）、若い仲間を引っ張るリーダーシップも発揮できたようです。社会人になって、これからの活躍が楽しみです。

活動中での自信と余裕が出て来たと思う。また団体の活動について主体的に関わってくれるようになった。

スタートからまずは何にでもチャレンジしてみようという気持ちで臨んでくれたが、さらにその姿勢が強く積極的になってくれたと感じている。

受入 Case Pick Up!

新たなメンバーとしてワカモノを受け入れをした団体の担当者の方の声をお届けします。ワカモノとの良い距離感を測りながら、ワカモノも団体も Win-Win の関係を目指して、活動していた様子が伺えますね。

ウェブをワカモノと再構築

「ウェブやITって難しい。時間をかけられず、なかなか手がつけられなくて」そう話す団体では、この課題にワカモノが率先して取り組んでくれたそう。ワカモノ自身はウェブ経験や知識はなかったとのこと。そんななか担当業務として意欲的に取り組んでいたことで、周囲のメンバーもそれをサポートするかたちになり、結果、団体として当事者意識をもって取り組むことに。ITやウェブは短期間の努力で様々なことができるようになり、団体の広報等につながるもの。ただ、そのためには一緒に学んでいく姿勢が大事なのだと感じることができたそうです。

ワカモノ中心のチーム作り

受け入れをした際に悩むのが、参加してくれたワカモノに何を任せるか、どれだけの量を任せるかということ。まず団体の活動を少しずつ経験してもらいながら、メンバーのこと、目指しているミッションなどを伝えていったそう。その後は、ワカモノならではのアイデアや感性を生かしてウェブの記事作成や資金調達の企画等に参画。これが団体としても大きな成果となり、且つ自分たちのことの棚卸しができたそうです。ワカモノに寄り添い、ワカモノを中心にしたチーム作りをすること。それが団体の組織基盤強化にも繋がったそうです。

本プログラムに参加したワカモノと受入団体みなさまに、アンケートを実施しました。インターン活動を通じて、できることが増えたり、自分に自信がついた様子が伺えます。受入団体の皆さんも、ワカモノが活動したことで新しい人材の受入体制が強化される機会となったようです。ぜひ、ワカモノと受入団体の皆さんの声をご覧ください。

(※) 回収率は100%です。全体数はワカモノと団体、各n=8となります。

Q. インターン活動の目標は何%達成できましたか？

平均 **81%**

裾野を広げたり、沢山経験はできましたが人間関係の構築を当初たてていた目標よりもできませんでした

スキルを身につけることはできたが、将来したいことは世界が広がりすぎてみつけれなくなったから

NPOのスタッフさんの補助を経て、ちゃんとしたものができるから

色々な人と接しなびに寄与することはできましたが、企画をして活動を動かすことはあまりできませんでした

Q. 現在のあなた自身の考えにもっとも近いものをお選びください

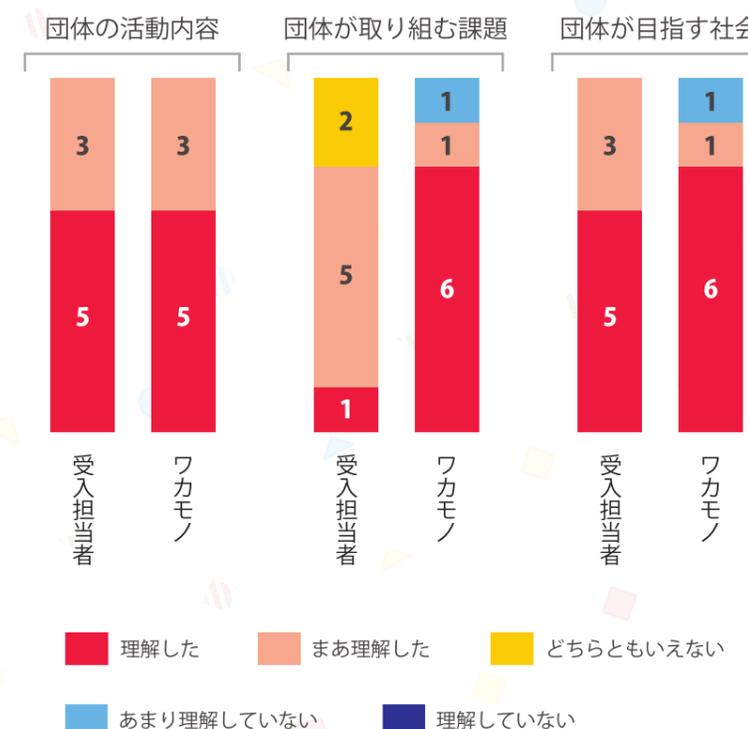


コメント

- ・インターン活動を通じて以前より自分の目標ややりたい姿が明確になったから
- ・裾野が広がったことで自分の目指している姿に少しだけ近づいた
- ・以前はNPOについて名前と意味を知っている程度だったが、実際に活動をしたり、他のインターン生の話を聞いたりして具体的にイメージできるようになった
- ・これからもNPOの活動やボランティアに積極的に参加していきたい
- ・インターンを通して、自己の限界やもっと成長できる自分を実感でき、将来の自分が何となく見えてきた

■ そう思う ■ まあまあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

Q. 団体のことについて、ワカモノはどのくらい理解しましたか？



コメント

- 【ワカモノ】**
- ・よくホームページを見てどんなことをやっているのか、目標は何かを確認していた
 - ・団体の人に経緯やこれからの課題を質問し、理解できたため
 - ・イベントを企画する際に「目指している社会」をなんども確認をしたから
 - ・時間の都合上、メインの活動に参加できなかったこともあり、完全に理解したとは言えない
- 【団体】**
- ・団体の目指している社会については、なんとなく感じてもらえたかなとは思いますが、しっかりと言葉にしてお話はできていない
 - ・完全に理解は難しいと思いますが、活動自体は出来ていました

Q. 活動を通じて、新しい発見や自分が「変わった！」と思ったことは？

活動前は人と話すことに消極的で、いろんな環境で感動してきたことで、新しい環境でもすぐに馴染めるようになった

活動に来る大人は年も性別もバラバラだけど、やりたいことに向かって自分のペースで進んでいる人たちがばかりで、そのあつかさを感じる事ができたのがインターンでの一番の気づき

家族同士どんなに不平不満をいっても愛しているということ

Q. インターン活動を経て、気づいた「社会課題」や「地域課題」は？

今あるNPOが継続した活動を行える社会にしていくことで、地域に関わる問題を解決していく1つの手段としてなり得ると思う

少子高齢化が進む現在、地域と人の関わりが重要になると思う

NPOと地域住民の関わりが必要

団体が持続してやっていくには頭とお金と体力があるのだと気づいた

リーダーなき組織運営

インターン活動の集大成として開催している成果発表会。今年で6度目の開催となりますが、初めての出来事。それはリーダーを置かない、という選択肢をとったこと。それもすんなりと会議で決まり、その後はオンラインでのやりとりを中心に、短い期間ながらメンバーそれぞれが尊重しあう関係性を築き、ひとつのイベントをやり切った様は、社会人の目から見ても、素晴らしいリーダーシップを各自が発揮したからでしょう。

開催概要

日時：2020年2月8日（土）14時～17時
 会場：藤沢商工会館ミナパーク 6階 多目的ホール1
 内容：ワカモノ8名による発表・交流会
 発表テーマ：My future, My legacy (1人5分)
 企画運営：ワカモノ
 参加人数：45名（スタッフ含む）



当日の様子

いよいよ発表会当日！制作メンバーの田畑 大地が当日の様子をレポートします！



この成果発表会はワカモノたちが企画運営しているとのこと。当日は椅子や机を発表会の形にするところから始まり。食事休憩もとりつつ、準備やリハーサルを終え、いよいよ本番。今年は『セレモニー』感を出したいとの事で、手作りの花の飾りを使っておりこの飾りの花にも、それぞれの個性が出ているように感じました。

発表では「My future, My legacy」自分の経験・遺産は自分の未来のために、をテーマに1人あたり5分程度の時間で成果を伝えていました。私自身は活動していないにも関わらず、一人一人将来に対する思いや、半年間で経験したことの素晴らしさを追体験できるような、引き込まれる発表でした。

終了後の交流会では、自分の母校の先生が参加していて、びっくりしました。そういったことから地域での繋がりを改めて実感。

ただインターシップをするのではなく、地域での繋がりを深め、団体にもワカモノにも良い刺激を与えてくれる、そんなプログラムの魅力を感じることでできた成果発表会でした。一歩踏み出す勇気、そしてその仲間が集まるとこんなにも心地よい空間ができるんですね。



パンフレット表



パンフレット裏



ポスター

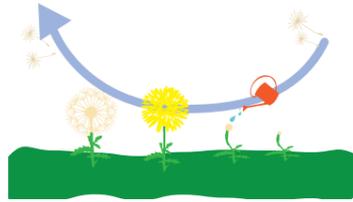


居場所の多様化
 まなびの多様化

自ら考え、選ぶことができる力をつけた人材が育つこと

このプログラムは、高校生～大学院生までのワカモノが約半年間、地域の NPO でインターン生として活動します。2014年度より実施し、プログラム 6 年目となる 2019 年度は、8名のワカモノと 8の NPO・市民活動団体が参加しました。下記の3つを目的にしています。

- ① ワカモノが自ら考え、自ら学び、自分の道を選ぶことができる力を身に付けること
- ② NPO・市民活動団体の組織基盤の強化
- ③ プログラムを他地域に展開すること



プログラム概要

対象：高校生～大学院生（概ね30歳未満） 期間：2019年7月1日（月）～2020年1月13日（月）
 費用：活動にかかる交通費や食費などは自己負担 ※活動1時間あたり400円の助成を行います。
 活動先：神奈川県内で活動するNPO・市民活動団体

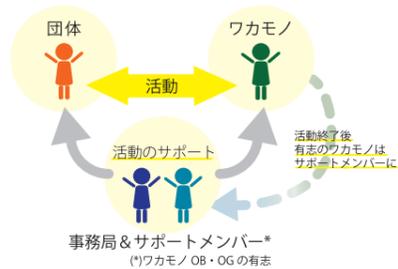
特色1

ワカモノコースと高校生コースの2つあります。高校生コースは活動時間を短縮したことで、活動と学業との調整をしやすくしています。また、継続して活動に取り組めるよう、活動1時間あたり400円の助成を行います。

 ワカモノコース 120～200h <small>(定例会等の時間を含む)</small>	 高校生コース 80～100h <small>(定例会等の時間を含む)</small>
--	--

特色2

ワカモノと団体が活動しやすいよう、事務局及びサポートメンバー（ワカモノ OB・OG 有志）が活動のサポートをします。



サポートメンバー



NPO とは？

NPOとは「Non-Profit Organization」の略称で、日本語では「民間の非営利組織」と表現します。株式会社等の「営利」を目的とする組織とは異なり、収益を社会課題を解決するための事業に活用して取り組む組織です。社会の多様化したニーズに応え、社会や地域の課題解決に向け、様々な分野（文化、環境、教育、まちづくり、国際、福祉等）で活動をしています。

また、NPOは「産学官民」の「民」の部分を担当する存在として地域でも注目されています。最近では「協働」という新しい形のパートナーシップで、NPOをはじめ、企業、学校、行政等と連携する事例が増えています。また、災害などの際にそれぞれの分野で力を発揮するボランティアをコーディネートする役割も、地域のNPOには求められています。



認定 NPO 法人 藤沢市民活動推進機構
副理事長・事務局長

手塚 明美 Akemi Teduka

1998年 NPO 法の制定をきっかけに、NPO 支援の在り方を柱に、情報収集と発信を進め、NPO を中心とした非営利組織のマネジメント支援、ソーシャルビジネスの起業支援、NPO と他セクターとの連携支援に取り組んでいる。

今年も成果発表会の最後に、関係者の皆さまと共に、ワカモノの笑顔に包まれた記念撮影ができました。インターンシップ事業のある種の区切りを感じながら、来年はどんなワカモノと出逢えるのかといったワクワク感が胸に広がる一瞬です。6年目の事業でしたが、毎年少しずつですが変化を加え、現在はワカモノの年齢層も大幅に広がり、今後求められるであろう地球上で生きるヒトとしての市民意識の醸成に役に立っているのではないかと自負しています。

以前の報告書にもあるように、東日本大震災被災時の中高生や20歳代の若者の活発な動きが、地域社会全体を支えていた事実を目の当たりにし、それが今回のプロジェクトの基になっています。その後の復興においても、近年の自然災害時においても同じような動きがみられます。勿論そこには、バランスの取れた経験豊かな地域人材の存在も忘れることはできません。自分が望む未来を想像することを躊躇してしまうような出来事が次々と起こっている現代社会において、夢を持ち、実現に向けて努力する人

材の育成が望まれています。これは、いわゆる「生き抜くチカラ」に通じたスキルではないかと思えます。

若者の就職観が変わったといわれている中、あえて『インターン』という言葉を使い、就業に向かう前段階でのトレーニングを NPO やボランティア団体で実施する価値への信頼を得るまでにはもう少し時間が掛かりそうです。しかしながら、学校教育の分野では、少しずつではありますが、指導者（教諭・教授等）の皆さまから応援のメッセージを頂くことができるようになりました。

実施にあたり、多くの市民活動団体やボランティア活動団体の皆様にご協力を仰ぎ、快くご協力いただいたことに深く感謝いたします。

今後も、社会を支える仕組みとして市民の皆様にも認知されるよう、多くの関係者の皆様とともに丁寧に進める所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

・・・制作メンバーより・・・

- ・初めてのロゴ作成やメンバーとのミーティングはとても有意義な時間でした！少しでも多くの方に興味を持っていただけたらという思いで作成に励みました。ぜひチャレンジしてみてください！（神藤 夏美）
- ・主にイラストを担当させていただきました。楽しく読んでいただけましたか？少しでもこのプログラムに興味をもった方が次回チャレンジしてくれると嬉しいです。（小島 奈々）
- ・事務局でのインターンとして、1ヶ月間活動させていただきました。最後にこのような形に残るものに携われてとても嬉しい限りです。残りの大学2年間、より一層、地域と関わっていけたら幸いです。（田畑 大地）
- ・自分の気持ちに耳を傾けて、「好き！やりたい！」を自分の言葉で語れるワカモノが増えますように。（西尾 愛）
- ・ワカモノ × NPO インターンシッププログラム 2019、いよいよ本報告書をもって、終幕を迎えます。個性あふれるワカモノたちが織りなす素敵な舞台、その記録、ぜひお楽しみください（桜井 光）

・・・協力者一覧・・・

助 成 公益財団法人 電通育英会

協 力 藤沢市市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい

受入団体 NPO 法人 アズヴェール藤沢スポーツクラブ NPO 法人 横須賀創造空間
NPO 法人 Nico's Company 藤沢市民まつり実行委員会
NPO 法人 ハーモニーインターナショナル NPO 法人 鎌倉あそび基地
認定 NPO 法人 藤沢市市民活動推進機構 NPO 法人 幼児武道教育振興会

広報協力 神奈川大学 山岡 義卓先生／私立大学 柴田 匡啓先生／日本大学 小谷 幸司先生／
慶應義塾大学 櫻田 周三先生／多摩大学 キャリア支援課様／
湘南学園中学校・高等学校 吉川 謙太郎先生／藤沢総合高等学校 長瀬 右文先生

社会を知るためのワカモノ × NPO インターンシッププログラム 2019 活動報告書

発行： 2020年3月

編集責任： 認定 NPO 法人 藤沢市市民活動推進機構
副理事長・事務局長 手塚 明美

事業担当： 桜井 光 / 西尾 愛

制作協力： 神藤 夏美（ロゴ制作・デザイン補助）
小島 奈々（イラスト制作・デザイン補助）
田畑 大地（ライティング）

発行所： 認定 NPO 法人 藤沢市市民活動推進機構
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢 577 寿ビル 301 号室
電話：0466-53-7366
ホームページ：http://f-npon.jp/
メール：npoipg@f-npon.jp

本書の一部あるいは全部について、無断で転載・複製することを禁じます。
商業目的による本書情報の利用を禁じます。

